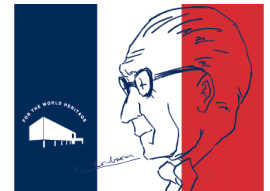


国立西洋美術館を世界遺産に！！

「ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—」

L'Œuvre architecturale de Le Corbusier

— Une contribution exceptionnelle au Mouvement Moderne —



【発行】2012(平成24)年8月 台東区世界遺産登録推進室 TEL03-5246-1082

東京おもちゃショー2012で国立西洋美術館をPRしました

6月16日(土曜日)と6月17日(日曜日)に東京ビックサイトにて、「東京おもちゃショー2012」が開催されました。台東区もブースを出展し、区の魅力の紹介と共に国立西洋美術館のPRをしました。土日だけで、約14万人が訪れ、活動を知らない方々にも展示したパネルやパンフレットを通じて、PRすることができました。



おもちゃショー

下町七夕まつりパレード&上野夏まつりパレードに参加しました



下町七夕まつりパレード

7月7日(土曜日) かつぱ橋本通りでの「第25回下町七夕まつりパレード」、7月21日(土曜日) 上野中央通りでの「第29回うえの夏まつりパレード」に横断幕と幟旗を持って参加しました。

下町七夕まつりパレードでは、台東区商店街連合会の方と協力し、かつぱ橋本通りを行進しました。両日とも、沿道の多くの方々に国立西洋美術館をPRすることができました。

お知らせ

●めぐりん で国立西洋美術館をPRしています！

現在、台東区循環バス「めぐりん」では、車両の前面に「国立西洋美術館を世界遺産に！」と表示されたパネルを装着して運行しています。



●「世界遺産の住宅建築とル・コルビュジエ」展を開催しています！

大成建設ギャラリー・タイセイでは、11月10日(土曜日)まで、「世界遺産の住宅建築とル・コルビュジエ」展を開催しています。是非お立ち寄りください。

大成建設ギャラリー・タイセイホームページ <http://www.taisei.co.jp/galerie/index.html>

●映画「ル・コルビュジエの家」が公開されます！

アルゼンチンにあるル・コルビュジエ設計のクルシェット邸を舞台にした映画「ル・コルビュジエの家」が公開されます。シニカルな人間ドラマとル・コルビュジエ建築の特徴を随所に見ることができます。

9月15日(土曜日)より新宿 K's cinema、10月6日(土曜日)よりシネマート六本木にて公開予定です。是非ご覧ください。

公式サイト <http://www.action-inc.co.jp/corbusier> (※8月上旬オープン予定)

●文化庁の文化審議会は「富岡製糸場と絹産業遺跡群」を世界遺産に推薦することを正式に了承しました！

政府は近く関係省庁連絡会議を開き、正式にユネスコに推薦することを決定します。



第36回世界遺産委員会が開催されました！

6月24日（日曜日）から7月6日（金曜日）までロシアのサンクトペテルブルクにて、第36回世界遺産委員会が開催されました。

今回日本からの推薦案件はありませんが、新たに26件（文化遺産20件、自然遺産5件、複合遺産1件）の世界遺産が登録されました。これにより、世界遺産の総数は、962件になりました。



次回の世界遺産委員会はカンボジア王国の首都プノンペンにて開催予定で、日本から推薦されている「富士山」（山梨県、静岡県）と「武家の古都・鎌倉」（神奈川県）も審議される予定です。

世界遺産ってどんなもの？～世界遺産の分類編～



世界遺産とは？

地球上には、人類が大切に守り、引き継いできた素晴らしい文化や自然があります。これを人類共通の宝物として未来へ引き継いでいくため、1972年のユネスコ総会で「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」が採択されました。この条約に基づいて登録された文化財や自然環境が「世界遺産」です。



世界遺産の分類

世界遺産には以下の3つの種類があり、有形の不動産が対象です。

文化遺産 (745件※)	顕著な普遍的価値を有する記念物、建造物群、遺跡、文化的景観など (例) メンフィスのピラミッド地帯(エジプト)、タージ・マハル(インド)など
自然遺産 (188件※)	顕著な普遍的価値を有する地形や地質、生態系、絶滅のおそれのある動植物の生息・生育地など (例) グレート・バリアリーフ(オーストラリア)、小笠原諸島(日本)など
複合遺産 (29件※)	文化遺産と自然遺産の両方の価値を兼ね備えているもの (例) マチュ・ピチュの歴史保護区(ペルー)など



※登録件数は、第36回世界遺産委員会終了後の数字です。



危機にさらされている世界遺産（危機遺産）とは？

武力紛争、自然災害、都市・観光開発、商業的密猟等により、その価値を損なうような重大な危機にさらされている世界遺産は、「危機にさらされている世界遺産リスト（危機遺産リスト）」に登録されます。

「危機遺産」に登録されても、危機的状況が改善されると、リストから削除されます。例えば、カンボジア王国のクメール王朝の遺跡「アンコール」は、内戦による破壊や略奪により、1992年に危機遺産に登録されましたが、積極的な修復が行われた結果、2004年に解除されました。第36回世界遺産委員会では、2件が削除されましたが、新たに5件が追加され、危機遺産の総数は38件になりました。